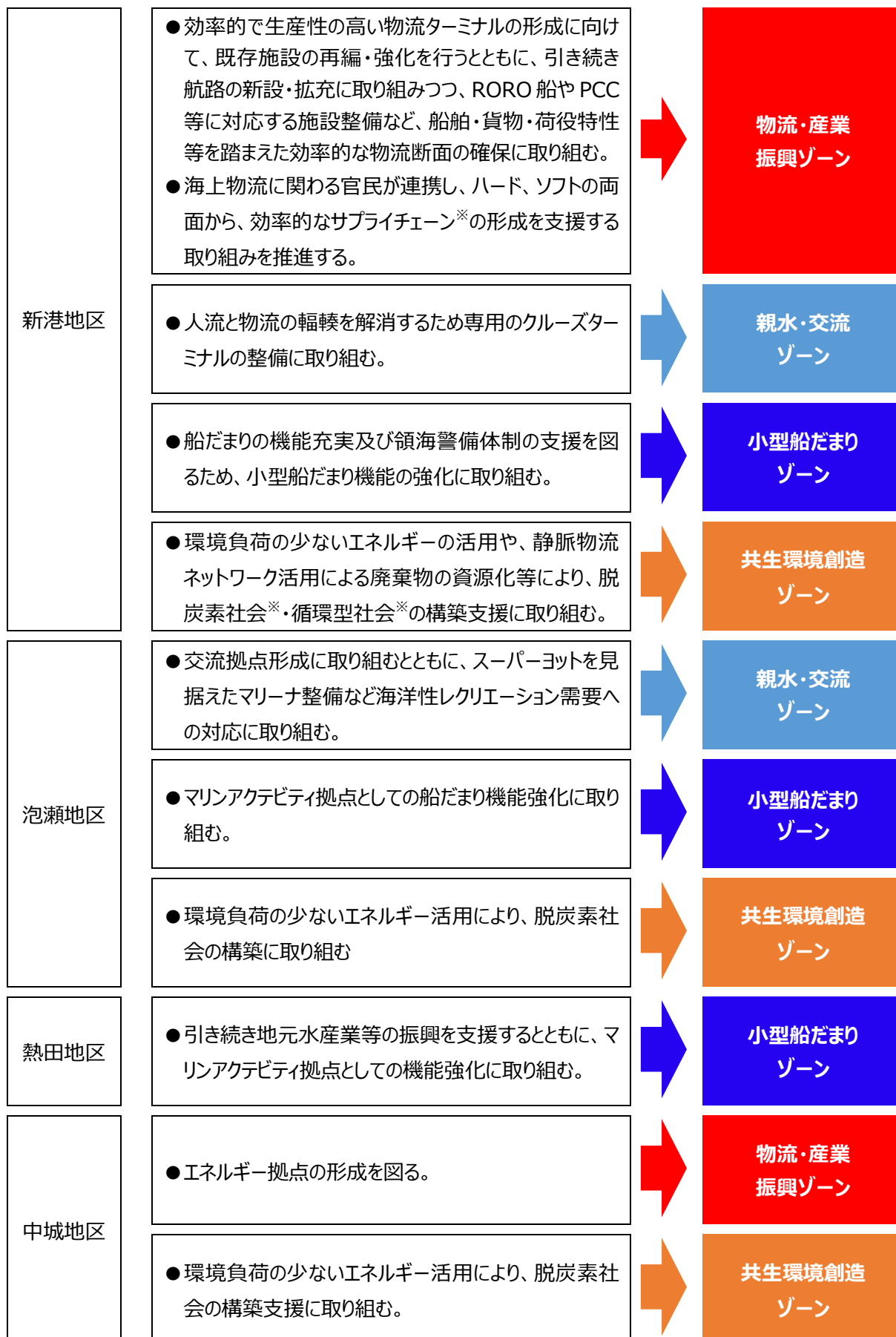


5 長期的な空間利用ゾーニング

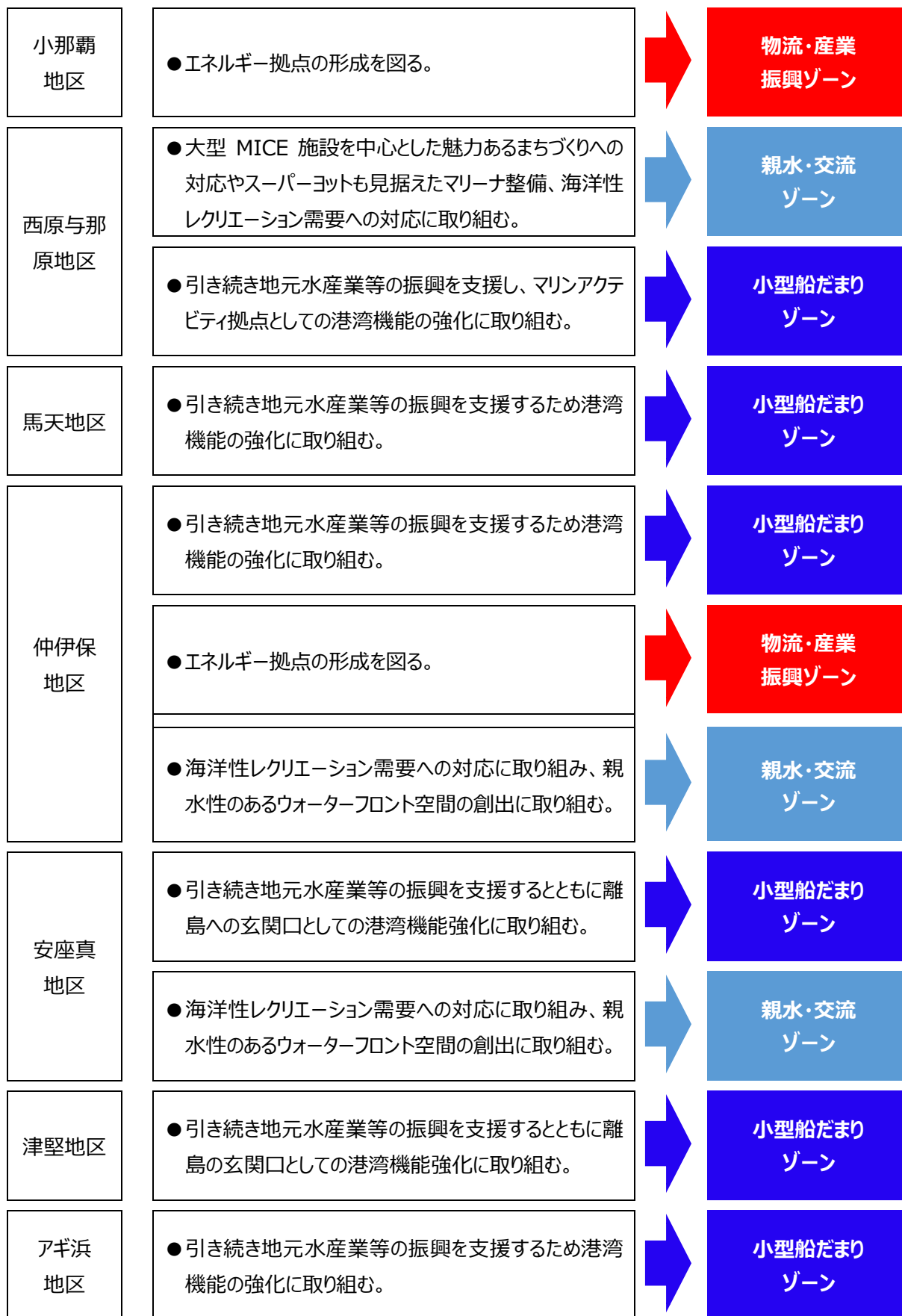
中城湾港の将来像（果たすべき役割）である「自立型経済の構築を支える物流・産業拠点」「地域資源を活かしたアジアの誇れる国際交流拠点」「暮らし・仕事・観光の安全・安心を支える中城湾」「経済・社会・環境が統合的に向上した持続可能な中城湾」の実現に向けて、地区特性を踏まえ、効率性、快適性、安全性の観点から調和のとれた空間利用が実現するように空間利用計画（ゾーニング）を設定する。

物流・産業振興ゾーン	沖縄本島や中城湾港背後圏等の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設の利用に供し、また、臨海部を利用する企業に対応を図る空間 【キーワード】 貨物船（RORO [※] 船・PCC [※] 船・バルク船 [※] 等）、静脈物流、リサイクルポート [※] 、エネルギー拠点
親水・交流ゾーン	人々が海や港を通じて交流し、賑わい・憩うことができる空間 【キーワード】 クルーズ、スーパーヨット、マリーナ、MICE、ウォーターフロント
小型船だまりゾーン	地域の水産業等の振興を支援するとともにマリナクティビティ拠点としての機能強化に取り組む空間 【キーワード】 船だまり・関連する港湾施設、遊漁船、その他小型船
共生環境創造ゾーン	社会と自然が調和の中で共生し、持続的な発展を可能にする環境の創造に取り組む空間 【キーワード】 持続可能性、脱炭素社会 [※] 、環境負荷の少ないエネルギー

※「8 その他参考資料（2）用語集」参照

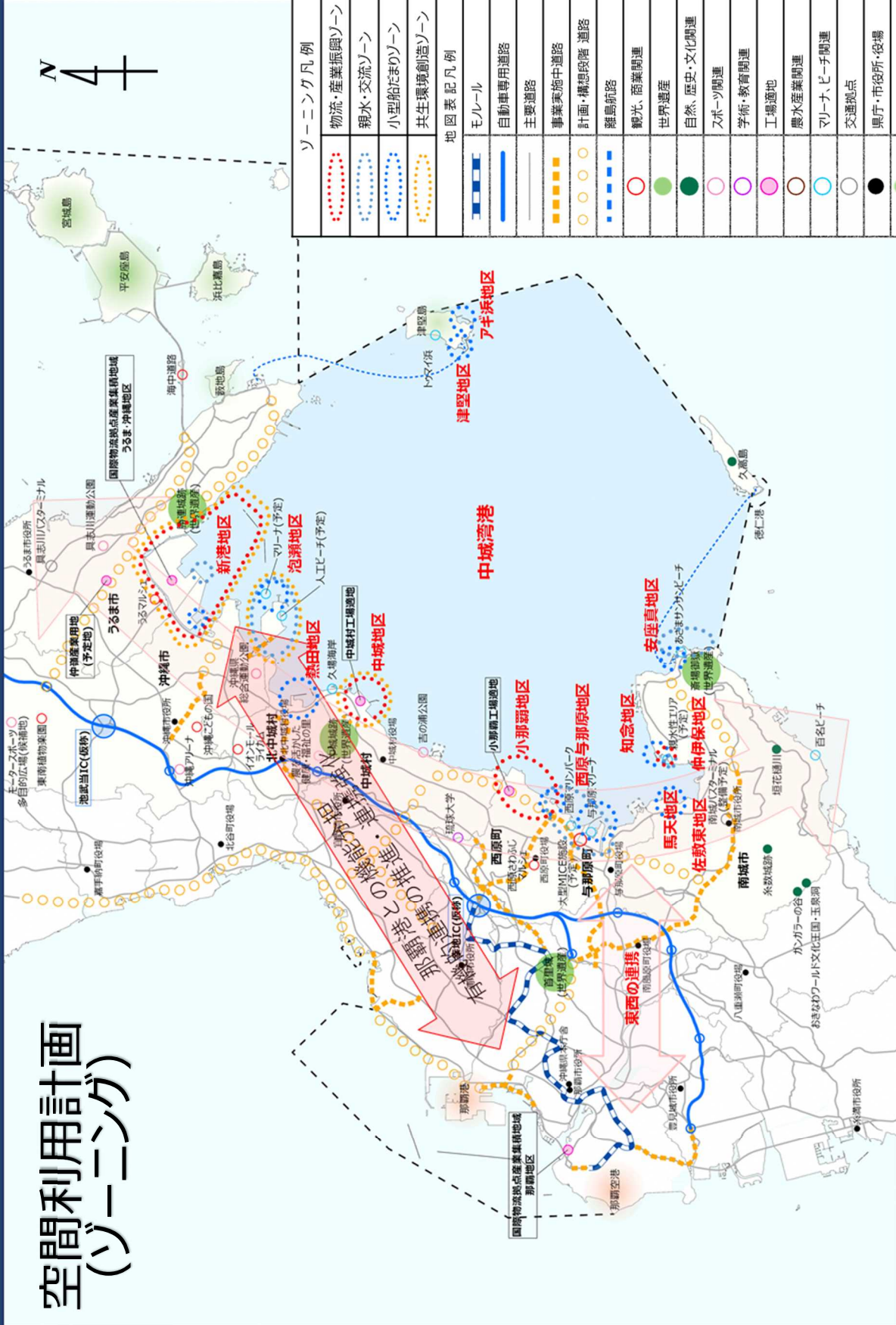


※「8 その他参考資料 (2)用語集」参照



〔沖縄の新経済軸〕沖縄らしい新たな価値を創造する臨港都市・東海岸サンライズホート

空間利用計画
(ゾーニング)



背景図：「国土地理院」(https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html)